

龍谷大学 ジェンダーと宗教研究センター (GRRC)
ユニット4 オンライン講演会

誰ひとり取り残さない社会を目指して — 老いと死をめぐる課題 —

単身世帯が増えるなか、ひとりで自宅で最期を迎えたら、なぜ「孤独死」といわれるのか。住み慣れた地域で自分らしく老い、幸せに人生を終えるにはどうしたらいいのか。そのためには社会の仕組み、ジェンダー格差の問題をどのように変革していくべきか。『おひとりさまの老後』シリーズが大ベストセラーとなった社会学者の上野千鶴子氏をお迎えし、講演会を開催いたします。

また僧侶の立場から在宅医療に取り組む大河内大博氏より、地域社会における介護や看取りと寺院の役割についてご紹介いただきます。

龍谷大学が推奨する「仏教 SDGs」の取り組みの一環として「誰ひとり取り残さない社会を目指して」議論を深める機会にしたいと思います。

日程 : 2021年12月10日(金) 13時30分~16時

方法 : Zoom ウェビナーによるオンライン開催

対象 : 一般・学生・研究者 最大500名

主催 : 龍谷大学 ジェンダーと宗教研究センター (GRRC)

共催 : 龍谷大学 龍谷エクステンションセンター (REC)

後援 : 龍谷大学 世界仏教文化研究センター 応用研究部門
花園大学 人権教育研究センター

プログラム

総合司会：清水耕介（龍谷大学国際学部教授、GRRC ユニット1 リーダー）

・開会 13:30～13:35

・開会挨拶 13:35～13:45

入澤 崇（龍谷大学学長、GRRC 研究員）

・趣旨説明 13:45～13:50

中村 陽子（龍谷大学文学部教授、GRRC ユニット4 リーダー）

・講演「在宅ひとり死のススメ」 13:50～14:50

上野 千鶴子（社会学者、東京大学名誉教授、
認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長）

< 休憩：5分 >

・実践紹介「地域共生社会のためのお寺の役割とは—さっとさんの試み—」 14:55～15:25

大河内 大博（訪問看護ステーション「さっとさんが願生寺」共同代表/チャプレン）

・質疑応答 15:25～15:55

・閉会挨拶 15:55～16:00

岩田 真美（龍谷大学文学部准教授、GRRC センター長）